

スタイルシートの基礎知識

これまでの学習の中でも[スタイルシート]を実際に使った演習を行ってきましたが、これから先の Web の更新は勿論のこと、様々な面で[スタイルシート]は避けて通れない大変重要なテーマとなりつつあります。今日から数回に分けて[スタイルシート]の復習を行いますので、実際にご自分のページ上で操作し体験して見てください。

1. スタイルシートとは?

改めて説明するまでもなく正式には[カスケーディングスタイルシート(CSS)]の事です。因みにホームページビルダーでは次の様に説明しています。

HTML ファイルに書式を設定するより、遙かに凝ったレイアウトにすることが出来ます。

HTML ファイルを編集しなくとも、スタイルシートを変えるだけで見栄えを変える事が出来ます。

共通のスタイルシートを使って、複数の HTML ファイルに統一したデザインを適用する事が出来ます。

2. スタイルシートのメリット

では[スタイルシート]を実際に使うとどのようなメリット(長所・効用)があるのかを考えて見ます。

ページのレイアウト管理が楽になる

特にページ数が多い場合には大変効率的です。ページの[背景色]や[文字]などを変えたい場合、ページ毎に操作してはは大変非効率的です。スタイルシートを使って全ページを一度に変更することが容易になります。

デザインの[統一化]に便利

多くのページに同一のデザインの[見出し]を設定したい場合、スタイルシートを使い[h1-h6]を利用して統一性を持った[見出し]や、文字サイズ・色などの設定が容易に出来ます。

ページサイズが軽くなる

スタイルシートを使うと、文字装飾やレイアウトのソース記述がなくなるのでファイルサイズが軽くなり、ページの表示速度が速くなります。

3. スタイルシートのデメリット

ブラウザによって表示が違う事がある

一般的には問題は起こりませんが、古いブラウザの場合はレイアウトが崩れて表示される場合もあります。

ビルダーの編集画面で反映されないスタイルもある

スタイルシートでレイアウトを作成した場合、複雑なレイアウトでは、編集画面ではレイアウトが正しく表示されないケースもあります。その意味では、現在当

クラブで行っている[テーブルレイアウト]ではこのような問題は起こりません。
レイアウトを[table]で行うか[CSS]で行うかそれぞれ一長一短があるように思われます。

4. スタイルを設定する方法

サイト全体に適用できるスタイルを設定する

このケースが一番メリットの多いケースです。この場合は[外部スタイルシート]を作成して操作します(別途記述します)。

クラス名を付けてスタイルを設定し、必要な箇所にスタイルを適用する

何カ所でも適用できるメリットがあります。

ID を付けてスタイルを設定し、必要な箇所にスタイルを適用する

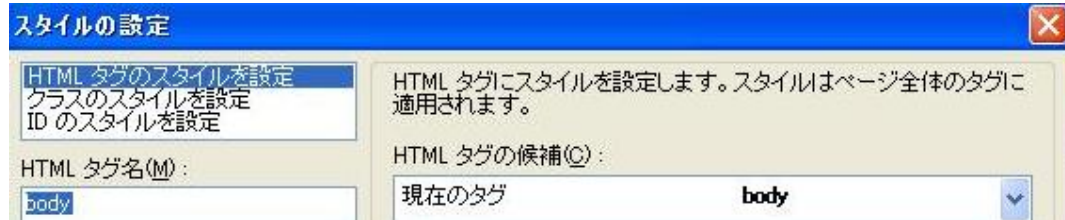
このケースでは、1ヶ所しかスタイルが適用されない。



[スタイルの設定]画面(上図)では、スタイルの定義方法を[HTML のタグ][クラス][ID]の3つの中から選択することが出来ます。この画面は、スタイルシートマネージャーをクリックして表示された画面の中央[追加]ボタンを押します。

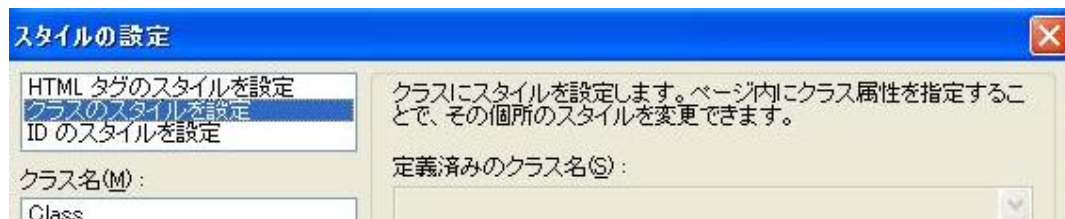
HTML タグのスタイルを設定[基本セレクター]

ページ全体に適用するスタイルを設定するのに用いる。



クラスのスタイルを設定[クラスセレクター]

名前を付けてスタイルを定義し、必要な時に使用する。名前の前には(ドット)を付ける。

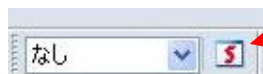


ID のスタイルを設定[ID セレクター]

名前を付けてスタイルを定義し、必要な時に使用する。但し、クラスはページ内では何度も使えますが、ID は一度しか使えません。名前の前には(#)を付ける。

スタイルシートを利用する場合は、上の様に 3 つの方法があることを先ず理解してください。

スタイルシートは、ツールバーの[スタイルマネジャーの表示]という **S** 字の様なボタンをクリックして操作しますが、その隣に[スタイルクラスの設定/解除]というウインドウ(下図)が表示されているかを確認しましょう。



<表示されていない場合>

メニューバーの[表示] [ツールバー]の中にある[スタイルクラス]に[チェック]が付いているかを確認してください。付いていなければチェックを付けてください。

チェックを付けるとウインドウが表示されます。